



隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小」

隈府小学校
学校だより No.3
文責 芹川博文
4月25日(金)

「一輪の花をじっくり見てください」
～ ボランティアで玄関の花を飾ってくださる お二人の思いから ～

「たくさんのお花もいいですが、一輪の花をじっくり見てみてください」と、ボランティアの木村 禮子 様、宮木 京子 様のお二人は言われました。(右の写真の花)

昨年度、150周年を迎える隈府小のために、「自分たちも何かできることはないか」と考え、玄関に花を飾るボランティアを始められ、クラブ活動でも「先生」として子どもたちに花を愛でる体験を教えていただきました。

植物や動物、魚や昆虫など世界には様々な「命」があります。それらの命に触れ、大切に思う気持ちや感動する感性を育ててほしいと願います。

便利さや快適さが追求される時代の流れを感じます。生成 AI との共存時代に突入するとともに、しかし、だからこそ、自然の美しさやはかなさ、たくましさや不思議さなどに触れる体験を、そして「命」と対峙する時を「子ども時代」にたくさん味わってほしいものです。

今週、4年生の教室横を歩いていた時、「先生、ちょっと見てください」と、手洗い場に咲く、綺麗な花(右の写真の花)を紹介されました。何と1年前の入学式で飾られたプランターの花とのことでした。1年間、子どもたちが水をやり、場所を変えたりしながら世話し、1年後再び見事な花を咲かせたとのこと。暑い夏や、寒い冬を越え、背丈を伸ばして咲かせた鮮やかなピンクの花。「この子たちが育ててくれたんですよ」と、紹介された子どもたちの笑顔も素敵でした。



0→1

ゼロを1にする 小さな変化や努力を大切に
～ 子どもたちの小さな変容に喜びを感じる学校を目指して ～

小さくても0(ゼロ)と1は大違いです。0→100でなくてもいい。小さなことから具体的に始め、味わってほしいと願います。一つのごみを拾うことも、トイレのスリッパを並べることも、いつもより少しだけ大きな声であいさつすることも、雨の日に傘をさして歩いて登校することも、苦手なニンジンを一皿食べてみることも・・・、どれも立派な0(ゼロ)→1です。

朝の登校指導をしていると、「先生、私たちも『あいさつ運動』していいですか」と聞いてきたのは、南門の真正の教室、2年生の子どもたち数名です。この「やってみたい」という意欲が素晴らしいと感じました。自ら考え、「良い」と思ったことを行動に移す0(ゼロ)→1の姿に、元気をもらいました。

同じく登校指導の朝、学校の木から低空で飛んでいくハトを見ると、その口ばしに枝をくわえていました。どうやら近くで巣作りをしているようです。すぐに同じ木に戻ってきて、ポキッと枝を折っています。何度か上手くいかず落とした後、枝をくわえて飛び立っていきました。生き物の世界にも0(ゼロ)→1があると感心し、こちらも元気をもらいました。

子どもたちの小さな変容に喜びを感じる学校づくりに努めてまいります。

「地道な半歩を大事にできるかが、大きな差となる。」

イチロー(元メジャー・リーグ野球選手)

